

第九でわかるドイツ語発音

1 概要

茨木高校では、毎年 Ludwig van Beethoven による『交響曲第 9 番 ニ短調 作品 125 第 4 楽章』、いわゆる『第九』の合唱が為されている。そこで音楽選択者はドイツ語で記述された歌詞を歌唱しなければならない。本書はそんな音楽選択者に向けた資料であり、筆者が美術を選択して第九を歌うことができなかった事実を悔み、その無念を埋めようとする試みでもある。音楽選択でない生徒や、中学生、一般の方でも、普段慣れ親しんだ英語からまた一味違った言語の世界を体験することで、新たな気づきが得られるであろう。

2 注意事項・免責事項

・筆者は生粋の日本人で、ドイツ語知識もほとんどありません。なるべく信頼できる出典を参照していますが、誤った知識を提供してしまう可能性があります。

・本稿で紹介する事柄はドイツ語全体のほんの一部です。第九を歌うことにフォーカスしているため、現代ドイツ語とずれる部分や、日常会話と違った部分があります。

以上の点をご了承いただける方のみ続きをご覧ください。

3 基本知識

ドイツ語がゲルマン語族に分類され、同じくゲルマン語族である英語とは語彙・文法の点で非常に似通っていることは周知の事実である。それでは、発音も類似しているのだろうか？——答えはいいえ、である。ここで落胆した読者は安心していただきたい。発音に関しては英語よりドイツ語のほうが簡単である（むしろ英語がヨーロッパの諸言語のなかで難しいほうのようだ。）以下の基本事項をはじめとした規則を押さえておけば、初めて見る単語でも、ある程度発音できることが多い。

- I. 基本的にローマ字読みで正しいことが多い。（betreten / ベトレーテン, sanfter / ザンフター, etc.）※ドイツ語では、普通名詞でも頭文字を大文字で書くルールがある。
- II. アクセントは基本的に第一音節におく。Freu-de を例にすると、フロイデといった具合である。外来語など、後ろに置かれることも多い。

※音節とは、Freu-de, schö-ner, Göt-ter-fun-ken のように、音のかたまりごとに区切るもので、音節ごとに対応して歌われることが多い。

4 ドイツ語の文字

ドイツ語は英語やその他の多くのヨーロッパの言語と同様、ラテン文字で表記される。しかしながら、英語には存在しない（使われていない）文字を用いることがあるため、戸惑うこともあるだろう。以下にそういった文字を挙げる：

4.1 ウムラウト

ä / Ä, ö / Ö, ü / Ü を総称して Umlaut と呼ぶ。それぞれ、ä / Ä (A-Umlaut) は「ア」と「エ」の中間音、ö / Ö (O-Umlaut) は「エ」と言いながら「オ」を発音するように口をすぼませる。ü / Ü (U-Umlaut) は「イ」と言いながら「ウ」のように口をすぼませる。日本語の「ユ」に近い音である。

4.2 エスツェット

ß (ギリシャ文字の β ではない) は Eszett と呼ばれ、もとは s と z の合字。音は ss と等しく、濁らない s の音である。なお、スイスでは用いられない（代わりに ss が用いられる。）ss は短母音のあと、ß は長母音や複母音のあとに用いられる。

5 第九で分かるドイツ語発音

それでは、いよいよ第九の歌詞をもとに見ていこう。ここでは最初のソリストが歌う部分と、最も有名な部分を取り上げる。

O Freunde, nicht diese Töne!

オー フロインデ、ニヒト ディーゼトウーネ

Freunde → eu は「オイ」と発音。äu と同じ読み

nicht → ch は喉の奥を少し開き、強く息を吐く。日本語の「ヒ」より口の奥の方に息をあてる。「ヒ」から「イ」を取った音。

diese → ie は「イー」と発音。

Sondern laßt uns angenehmere

ゾンデーン ラスト ウンス アンゲネーメレ

Sondern → s の音は母音の前では濁る。

uns → 語尾の s は濁らない。

angenehmere → 母音 + h で、直前の母音を長音化する。

anstimmen und freudenvollere.

アンシュティンメン ウント フロイデンフォレレ

anstimmen → st の s は語頭では「シュ」と発音する。今回は、接頭辞 an がついているだけなので、同様に発音する。

und → 語尾の d は濁らずに、t の発音。b, g も同様に p, k となる。

freudenvollere → ドイツ語で v は f の発音である。（「h」ではない）

Freude, schöner Götterfunken,

フロイデ, シューナー ゲッターフンケン

schöner → sch は「シュ」の発音（anstimmen と同様）。長母音のあとにある r は母音化される。

Tochter aus Elysium

トヒトウァ アオス エリジウム

Tochter → a, o, u, au の直後に ch があると、「ハ」の音になる。発音方法は先述の nicht と同様。「ハ」から「ア」を取った音。

aus → au は「アオ」と発音。

Wir betreten feuertrunken.

ヴィア ベトレーテン フォイヤートゥルンケン

Wir → ドイツ語で w は v の発音である。（Volkswagen → フォルクスワーゲン）

betreten → 子音の r の発音は英語の r とは全く違い、口蓋垂を震わせて発音する。うがいの音。ただし第九では、喉の負担の大きさから巻き舌で発音されることも多い。

※南ドイツ、オーストリア、及びスイスでは日常会話での巻き舌の発音もよく見られる。

feuertrunken → Feuer + trunken の複合語。ドイツ語では単語をつなげる複合語がよく出現する。

Himmlische, dein Heiligtum!

ヒンムリッシェ, ダイン ハイリヒトゥム

Heiligtum → ig は ch と同様に「ヒ」のような発音をする（ただし一部のドイツ人は「イック」と発音するようである。）

Deine Zauber binden wieder,

ダイネ ツァオバー ビンデン ヴィーダー

Zauber → z は濁らず、「ツ」の発音。

Was die Mode streng geteilt;

ヴァス ディー モーデ シュトレンク ゲタイルト

streng → 語頭の st の s は「シュ」。語尾の g は k に変化する。

Alle Menschen werden Brüder, アッレ メンシェン ヴェルデン ブリュエダー

Menschen → sch は、streng と同じく「シュ」。

werden → w は v の発音。

Wo dein sanfter Flügel weilt. ヴォー ダイン ザンフター フリュエゲル ヴァイルト

sanfter → s は濁る。

6 まとめ

本稿で解説した発音規則の簡単なまとめを提示する。

複母音	発音	例
ei	「アイ」と発音	weilt, sein, deine
ie	「イー」と発音	diese, wieder
eu / äu	「オイ」と発音	Freude, feuertrunken
au	「アオ」と発音	aus, Laufet

語頭・語尾の子音	発音	例
sp, st	語頭に限り「シュ」	Rosenspur, anstimmen
b, d, g	語尾に限り p, t, k	Freund, Weib, streng

英語と違う子音	発音	例
j	英語の y の発音	Ja, Jubel
r	口蓋垂を震わせて発音	Betreten, werden
v	英語の f の発音	Vater, vor
W	英語の v の発音	wieder, weilt

連続する子音	発音	例
ch	ハ行の音	Tochter, auch
sch	「シュ」	schöner, Menschen

その他の子音	発音	例
ig	「ヒ」	Heiligtum, Freudig

7 参考文献

京都大学大学院法学研究科 原田大樹（2025 年 10 月 25 日閲覧）「ドイツ語の世界へようこそ」, <https://www.harada.law.kyoto-u.ac.jp/hdg/lektion0.html>

名古屋市立大学人文社会学部 別所良美（2025 年 10 月 25 日閲覧）「2 ドイツ語の発音」, <http://www.hum.nagoya-cu.ac.jp/~bessho/CAL/Grammar/2-Aussprache.htm>

東京外国語大学言語モジュール（2025 年 10 月 25 日閲覧）「発音モジュール」, <https://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/de/pmod/practical/>

大阪大学人文学研究科 津田保夫（2025 年 10 月 25 日閲覧）「発音の三原則と母音の発音」, <https://www.lang.osaka-u.ac.jp/~tsuda/kouza/kouza02.html>

8 さいごに

これまで、カタカナで発音の解説をしてきたが、多くの音が日本語になく、正確な発音を伝えるのは難しい。そのため、全世界で共通の理解ができるよう、国際音声記号（IPA）と呼ばれる記号が存在する。多くの読者も英単語帳や辞典などで見たことがあるだろう。もちろんドイツ語でも表記可能で、真剣にドイツ語の発音を学習するのであれば、英語にも繋がる IPA を理解するのが最も有効だ。

最後に、本稿が第九をより楽しむ手助けとなれば幸いである。